

人権だより

NO.93

令和5年5月発行

岐阜県環境生活部 人権施策推進課 岐阜県人権啓発センター
〒500-8570 岐阜市菟田南2-1-1 (県庁2F)

☎058-272-1111 (内線3052) 直通058-272-8250

令和5年度 啓発活動重点目標

～人権啓発キャッチコピー～

「誰か」のこと じゃない。

法務省の人権擁護機関では、令和5年度も、人権問題を誰かの問題ではなく、自分の問題として捉え、人権を尊重することの大切さについて考えていただけるよう、「『誰か』のこと じゃない。」を啓発活動重点目標に掲げ、各種の人権啓発活動を幅広く展開します。

令和5年度啓発活動強調事項

法務省

- (1) 女性の人権を守ろう
- (2) 子どもの人権を守ろう
- (3) 高齢者の人権を守ろう
- (4) 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- (5) 部落差別（同和問題）を解消しよう
- (6) アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- (7) 外国人の人権を尊重しよう
- (8) 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- (9) ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (10) 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくそう
- (11) 犯罪被害者やその家族の人権に配慮しよう
- (12) インターネット上の人権侵害をなくそう
- (13) 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- (14) ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- (15) 性的マイノリティに関する偏見や差別をなくそう
- (16) 人身取引をなくそう
- (17) 震災等の災害に起因する偏見や差別をなくそう



「第41回全国中学生人権作文コンテスト」法務大臣賞 受賞おめでとうございます

法務省と全国人権擁護委員連合会が実施した「第41回全国中学生人権作文コンテスト」において、全国6,582校の中学校（特別支援学校を含む。）から応募された計768,623名の作文の中から岐阜市立三輪中学校1年 深尾 和弘さんの作文が見事、法務大臣賞に輝きました。

本紙では、受賞をお祝いするとともに受賞作品をご紹介します。中学生らしい感性に富み、純粋な感覚で人権問題をとらえた作文をお読みください。

偏見は差別

岐阜市立三輪中学校 1年 深尾 和弘

法
務
大
臣
賞

ある日、祖母の部屋で、桜の模様の入った手紙をみつけた。それは、刑務所から祖母宛てに届いた、受刑者からの手紙だった。手紙には、過ちを犯してしまった後悔と共に「刑務所から出たら、〇〇ちゃん（祖母のこと）の作った手料理が食べたい」ということが書かれていた。

桜の模様の手紙が受刑者からの手紙だと知ったとき、僕は少し怖かった。罪を犯した人と祖母が知り合いなら、その人が出所したら祖母に会いに来るかもしれない。僕たち家族が何か怖いことをされたらどうしよう、と心配になった。その気持ちを祖母に話すと、祖母は悲しい顔をして、僕にこんな話を始めた。

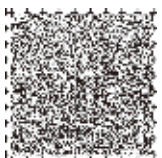
手紙をくれた人は、祖母が働いていた児童養護施設の人だった。学校では仲間と悪さをするいわゆる問題児だったが、施設では、祖母の体調が悪いといち早く気付き気遣ってくれたり、よくお手伝いをしてくれたりする優しい人だったそうだ。しかし、学校では悪いことばかりしていたため、先生達からよく連絡がきたという。ある時、またその人は仲間と一緒に学校で悪いことをした。仲間の中にはPTA会長の子もいたそうだが、家にまで先生が来て叱られたのはその人だけだった。先生達はその人の悪いところばかりを話し、その時の悪さもその人だけが悪いと話した。施設の子への偏見もあった。祖母が感じるぐらいなのだから、その人はもっと嫌な思いをしただろう。悔しそうな顔をしていたが、一切何も言い返さずじっと話を聞いていたらしい。そんな様子を見かねた祖母が、先生に、「この子の悪いところは十分わかりました。でも、この子の良いところはないのですか。」と尋ねた。すると先生達は黙ってしまった。祖母がその人のよいところを話し始めると、それまで黙っていたその人が、ボロボロと涙を流し声も出さず泣いたそうだ。この子は悪い子と決めつけず、一人の人間として良さを認めてもらえたことが嬉しかったのだろう。その時から、その人は祖母を信頼したのだと思う。養護施設の職員は何人もいたが、手紙が届いたのは、祖母だけだったのだから。

祖母の話聞きながら、僕は自分が恥ずかしくなった。罪を犯す人は悪い人、と決めつけて、会ったこともない人のことを怖い人だと偏見の目で見ていたと気付いたからだ。罪を犯した人は、刑務所で反省して、人生をやり直そうとして出所するのに、僕のような偏見をもった人がいることを知ったら、とても悲しいし、また人が信じられなくなってしまうと思う。偏見は差別だ。自分が差別の心を持っていたことに落ち込んだ。

祖母は、そんな僕を見て、その人の話を続けた。その人はこの手紙を書き、出所した後また罪を犯し、刑務所に入ったそうだ。そうってしまった原因は、やはり、僕のような世間の差別の目だった。出所してすぐは、差別されても、それだけのことを自分はしてしまったのだから受け止めるべきだと耐えていた。しかし、なかなか世間の目は変わらない悲しみはどんどん募る。そんなときに、集まってくるのは、結局また悪い仲間。悪いことをしても止めてくれる人がいない。そして、また罪を犯してしまった。負の連鎖だ。改心したときに、その人の職場の人や周りの人が、偏見をもたず、一人の人間として温かく迎えてくれたら、再び刑務所に行くことにはならなかっただろう。そう思うと、ますます、偏見の目の恐ろしさがよくわかる。みんな同じ人間なのだから、今のその人に思いやりをもって接することがとても大切だと実感した。

二度目の罪を償って出所したその人は、結婚相手連れて祖母に会いに来たそうだ。罪を犯した人への偏見をもつ人はいたろうが、その人の人としての優しさに気付き、人生を共に歩んでくれる人に出会えたことで、その人は、負の連鎖から外れることができた。祖母の手料理を食べながら、自分を受け入れてくれた人を悲しませないように、これから生きていくと笑顔で話したそうだ。今でもその人は罪を犯していない。

罪を犯すことはいけないことだ。被害者のことを思えば、許すことはできない。しかし、反省し、新しい人生を歩もうとしている人に対する偏見は、さらなる悲しみを生む。罪を犯した人が、普通の人生を歩むためには、本人の努力はもちろんだが、周りの理解が欠かせない。偏見を持たず、過去ではなく今のその人を温かく迎えてくれる人や道を外れようとしたら戻そうとしてくれる人が絶対に必要なのだ。僕も、今から偏見の心を捨て、出会う人を一人の人間として大切にしていきたい。そうすれば、罪を犯した人が普通に生きられるだけでなく、そもそも罪を犯す人も減るかもしれない。人が人として大切にされる権利、それが人権だ。誰もがもっている人権は、偏見の心をもたず、思いやりの心をもってお互いに大切にしようということで、守られる。まずは、自分が人権を大切にすることになりた。





令和4年度「ひびきあい活動」の取組



平成18年度から、県内全ての公立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校で「ひびきあい活動」に取り組んでいます。この取組は、人権教育における行動力の育成を主たる目的として、人権問題に対する実践的態度の育成を図り、確かな人権感覚を培い、様々な人権課題を解決することを目指しています。

昨年度は、講師の方から話を聞いたり、学んだことを基に仲間や地域の方等と交流したりする活動を通して、様々な人権課題についての理解を深め、自分事として考えられるようにする取組などが児童生徒の発達の段階に即して行われました。



- | | |
|-------------|---------------------|
| ○ 幼稚園 | みんな なかよし |
| ○ 小学校（前期課程） | つなごう 人と人の心と心 |
| ○ 中学校（後期課程） | あなたの心を行動に |
| ○ 高等学校 | 磨こう人権感覚 つくりあげよう共生社会 |
| ○ 特別支援学校 | 心と心で支え合い 笑顔あふれる毎日に |

172の園・学校を「ひびきあい賞」として表彰！＜岐阜県人権教育協議会＞

【「ひびきあい賞」表彰校数】

幼稚園	15園
小学校	89校
中学校	43校
高等学校	17校
特別支援学校	6校
私立学校	2校

■様々な人権課題の理解や日常生活につながる実践例

- 核家族化やコロナ禍によって減ってしまった地域や高齢者等との「触れ合い」をテーマにし、園児の思いやりの気持ちを育むために、コロナ禍でも実施可能な取組を位置付け、人権意識を醸成した。
- 助産師と保健師による「命の授業」を親子で学び、我が子の誕生についての家族の思いを知る活動を通して、命の尊さについての考えを深め、自分や仲間の命を大切にしていこうとする態度を育成した。
- 新型コロナウイルス感染症に係るハラスメント等の防止を呼びかけたり、ハンセン病回復者等に対する偏見や差別などの人権課題を考えたりするなど、幅広く人権課題への意識を高めることができた。

「ひびきあい活動」の優れた取組を継続して行っている 9の園・学校を「人権文化あふれる学校賞」として特別表彰！

「ひびきあい活動」を核とした日常的な人権教育を継続している園・学校を「人権文化あふれる学校賞」として特別に表彰しました。「ひびきあい活動」の取組を継続・発展させることにより、日常の様々な場面で、自分の大切さと共に他の人の大切さを認める態度や行動を自然に表す幼児、児童生徒が育まれています。

◆◆◆ 特別表彰された園・学校では、次のような取組が行われています。 ◆◆◆

- 小中一貫して「あったか」をキーワードとした計画的な児童会・生徒会活動
- LGB T Q +の講演会や人権課題を取り上げた道徳の授業実践を通して人権感覚を磨く活動
- 地区の中学生や地域の方と交流し、様々な人権課題を自分事として捉える活動

【「人権文化あふれる学校賞」表彰校】～今年度も含め通算6回以上、連続3年以上「ひびきあい賞」を受賞した園・学校～

- | | | | |
|---------------|-------------|--------------------------|-------------|
| ・ 郡上市立はちまん幼稚園 | ・ 岐阜市立厚見小学校 | ・ 大垣市立静里小学校 | ・ 恵那市立東野小学校 |
| ・ 高山市立荘川小学校 | | | |
| ・ 関市立旭ヶ丘中学校 | ・ 関市立富野中学校 | | |
| ・ 岐阜総合学園高等学校 | ・ 坂下高等学校 | ※「人権文化あふれる学校賞」は1回のみの表彰です | |



岐阜県教育委員会



ちょっといい話を紹介します (48)

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思ってかけた「言葉」や「行動」に、まわりの空気が温かくなったという経験はありませんか。

また、あなたがつらかったとき、苦しかったときにかけられた「言葉」や「行動」が励ましになった経験はありませんか。

県民のみなさまから身のまわりの心温まる話をたくさん寄せていただきました。

その中から、3作品を紹介します。

小学生

みんなありがとう

ママがコロナになったときに、おばあちゃんが、おかずをつくってくれました。それに、おねえちゃん、ごはんをたいてくれました。おにいちゃんは、べんきょうをおしえてくれました。それに、パパは、しゅっきあらいをしてくれました。

みんなといっしょにいるって、しあわせだなと思いました。これからもみんなとあわせにくらしたいです。



中学生

私の夢

私は一時期なやんでいたことがありました。それは、将来についてです。

私はイラストレーターになりたいのですが、お金はかせげそうに思えないし、正直どうかناと思っていました。ある時、私は母親に相談してみることにしました。母親は、「したいことをすればいい。私たちは応えんするよ。」と言ってくれて、自分の夢を否定せず、「応えんする。」とまで言うてくれて、うれしかったし、なんだか自分の夢に自信が持てました。

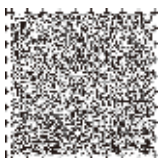


高校生

帰り道

私が中学生の時、帰り道に車イスに乗っている男性を見かけました。その人は、何分たっても動かなかったので心配になり声をかけると、「ちょっとの段差がキツくてね。」と言いました。私は、学校の頃から車イスの友達がいて少しなら扱い方が分かるので段差を登るのを手伝いました。

すると男性は、家の中から奥さんを呼んで来て二人で「ありがとう。」と言ってくれました。私は手伝って良かったと思い、心が温かくなりました。



全国一斉「人権擁護委員の日」特設人権相談所の開設

毎年、6月1日は「人権擁護委員の日」です。

岐阜県人権擁護委員連合会では、人権擁護委員制度の周知徹底と人権思想の普及高揚を図ることを目的に、全国一斉「人権擁護委員の日」特設人権相談所を開設します。

いじめ、体罰、女性や障がい者に対する差別、家庭内（夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続等）、近隣間のもめごと、悩みごとなど、身近なことで困っていることがあれば、人権擁護委員が相談に応じます。

また、相談は無料で秘密は厳守しますので、どなたでもお気軽にご利用ください。

相談日 令和5年6月1日（木）

※市町村によって開設日時が異なる場合がありますので、お住まいの市町村役場にお尋ねください。

場所 開設場所は、お住まいの市町村役場にお尋ねください。

相談担当者 岐阜県内人権擁護委員

問い合わせ先 岐阜市金竜町5丁目13番地

岐阜地方法務局人権擁護課又は岐阜県人権擁護委員連合会事務局

TEL 058-245-3181（代）

●お電話での人権に関するご相談はこちらまで●

人権についての相談はなんでも

①みんなの人権110番：0570-003-110

※最寄りの法務局・地方法務局につながります。

（全国共通）

学校でのいじめ、虐待など子どもに関する相談は

②子どもの人権110番：0120-007-110

（全国共通・通話料無料）

職場でのセクハラ、家庭内暴力など女性に関する相談は

③女性の人権ホットライン：0570-070-810

（全国共通）

英語、中国語、ポルトガル語を含む10か国語での相談は

④外国語人権相談ダイヤル：0570-090-911

（全国共通）

人権全般に関する相談は

⑤岐阜県人権啓発センター：058-272-8252

受付時間

①～③：平日午前8時30分から午後5時15分までです。

④、⑤：平日午前9時から午後5時までです。



～岐阜市人権啓発センターからのお知らせ～

◎小中学生「人権に関するポスター」の作品募集

6月5日(月)～9月6日(水)

対象：岐阜市内の小学校(4年生以上)、中学校、特別支援学校(小学4年生以上・中学部)に在籍する児童及び生徒

◎人権学習講座(各2会場で実施)

日付・場所 ※各日14:00～開始	テーマ/講師
6月13日(火) ぎふメディアコスモス 6月16日(金) 黒野会館	「障がい」があるという事を考える ～障がい種別と特性、困り事～ 中村 菜穂子 氏(岐阜市障害者生活支援センター 相談支援専門員)
6月20日(火) ぎふメディアコスモス 6月23日(金) 市橋コミュニティセンター	ユネスコ世界遺産と人権 平井 花画 氏(岐阜県ユネスコ協会会長)
7月 4日(火) ぎふメディアコスモス 7月 7日(金) 長森コミュニティセンター	迷信と部落差別 吉田 圭三 氏(岐阜市人権教育・啓発推進専門委員)

◎夏休み子ども人権パネル展 7月28日(金)～7月30日(日) ぎふメディアコスモス(ドキドキテラス)

◎岐阜市人権尊重推進強調月間 11月11日(土)～12月10日(日)

◎'23人権の広場 講演テーマ：未定 講師：武内 宏之 氏(石巻市芸術文化振興財団 理事)
12月10日(日) ぎふメディアコスモス(みんなのホール)◎人権パネル展 11月20日(月)～23日(木・祝) ぎふメディアコスモス(ドキドキテラス)
啓発事業の詳細内容・応募方法等については、以下までお問い合わせください。

岐阜市市民協働推進部 人権啓発センター TEL: 058-214-6119(直通) FAX: 058-265-1020

ホームページ [岐阜市人権啓発センター](https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/jinken) [検索](https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/jinken) <https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/jinken>

～可児市人権啓発センターからのお知らせ～

◎「ぬくもり標語・300字小説の募集」 募集：7月上旬～9月上旬 対象：可児市在住の小中高生・一般
※入賞者には図書カード・表彰状等を贈呈、応募者全員に粗品贈呈◎人権(ヒューマンライツ) トーク&コンサート 12月2日(土) 可児市文化創造センター(アーラ)小劇場
～音楽に込められたメッセージ～

◎「人権合同展(パネル展)」 11月17日(金)～12月15日(金) 可児市立図書館本館

◎「人権マンガ祭り(原画パネル展)」 12月5日(火)～12月18日(月) 可児市役所ロビー

◎「人権本巡回制度」 可児市内11小学校・2コース 対象：児童、約70冊/コース

◎子ども「ぬくもり教室」(小学校) 個性を大切にしたい絆や友情を企画・演出。
啓発事業の詳細内容・応募方法等については、以下までお問い合わせください。

可児市人権啓発センター TEL・FAX: 0574-63-7990

ホームページ [可児ぬくもりネット](https://www.kani-nukumorinet.jp/) [検索](https://www.kani-nukumorinet.jp/) <https://www.kani-nukumorinet.jp/>

音声コードって？

各ページの右または左下隅に、バーコードのようなものが印刷されています。これは、『音声コード』といいます。

音声コードとは、紙に掲載された情報をデジタルに変える、新しい形の二次元バーコードのことで、縦と横の2方向に情報を記録することができます。この音声コードは、「活字文書読み上げ装置」によって音声で読み上げられます。

また、活字文書読み上げ装置で音声コードを読み取らせる場合、音声コードの位置がわかるように、用紙に切り込みを入れてあります。目の不自由な方々にも、当課が発行する啓発資料を活用していただくため、人権だよりは、『音声コード』による情報提供を行っています。

※「活字文書読み上げ装置」は、視覚障がいの方の日常生活用具として、給付(補助)を受けることができます。詳しくは、お住まいの市町村福祉窓口までお問い合わせください。

